

2019年度(評価対象期間:2019年4月~2020年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。	(1)	学部・学科ごと、研究科又は専攻ごとに人材育成その他の教育研究上の目的を設定していますか。また、その内容は適切ですか。	A
		(2)	大学の理念・目的と学部・研究科の目的に連関性がありますか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 総合政策学部は、人材の養成・教育研究上の目的を適切に設定し、毎年、履修要項、ホームページに公表している。				
(2) 総合政策学部は、大学の理念・目的、建学の精神を具現化することを踏まえ、人材の養成・教育研究上の目的を設定し、毎年、履修要項に公表している。				
〔根拠資料番号及び資料名〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等の資料番号と資料名を記入してください。(根拠資料の詳細は別記)				
資料番号	資料名			
1-① (1)	2019年総合政策学部履修要項「総合政策学部の特色 人材の養成・教育研究上の目的」、「AP/CP/DP」ウェブサイト【ウェブ】			
1-① (2)	2019年総合政策学部履修要項「総合政策学部の特色 人材の養成・教育研究上の目的」、「AP/CP/DP」ウェブサイト【ウェブ】			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	大学の理念・目的及び学部・研究科の目的を学則又はこれに準ずる規則等に適切に明示し、教職員及び学生に周知し、社会に対して公表しているか。	(1)	学部・学科ごと、研究科又は専攻ごとに設定する人材育成その他の教育研究上の目的を適切に明示していますか。	A
		(2)	教職員、学生、社会に対する刊行物、ウェブサイト等により、大学の理念・目的、学部・研究科の目的等が周知及び公表されていますか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 総合政策学部は、人材育成、教育研究上の目的を設定し、愛知学院大学人材の養成・教育研究上の目的に関する規程に明示し、履修要項に公表している。				
(2) 総合政策学部は、建学の精神を具現化することを踏まえ、人材の養成、教育研究上の目的を設定し、履修要項及び大学ホームページに掲載し、教職員及び学生に周知するとともに、社会に公表している。				
〔根拠資料番号及び資料名〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等の資料番号と資料名を記入してください。(根拠資料の詳細は別記)				
資料番号	資料名			
1-② (1)	2019年度総合政策学部履修要項「総合政策学部の特色 人材の養成・教育研究上の目的」、愛知学院大学人材の養成・教育研究上の目的に関する規程			
1-② (2)	2019年度総合政策学部履修要項「総合政策学部の特色 人材の養成・教育研究上の目的」、「AP/CP/DP」ウェブサイト【ウェブ】			

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	長所・特色
	なし

〔根拠資料番号及び資料名〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等について、資料番号と資料名を記入し、提出してください。（根拠資料の詳細は別記）

資料番号	資料名

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画（既にも実施している場合はその進捗状況も含めて）を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策

〔根拠資料番号及び資料名〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等について、資料番号と資料名を記入し、提出してください。（根拠資料の詳細は別記）

資料番号	資料名

5. 「基準1」全体の自己評価

基準全体の評価を、 「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、 「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A

## 2019年度(評価対象期間:2019年4月～2020年3月) 自己点検・評価シート

## 1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点	自己評価
③	方針及び手続に基づき、内部質保証システムは有効に機能しているか。	(1) 学部・研究科その他の組織における定期的な点検・評価及び点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを計画的に実施していますか。	A
[現状] 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。			
(1) 学部自己点検自己評価委員会において、学部の内部質保証についての点検を行い、現在の現状が良好であると確認した。自己点検自己評価に関する学部会においても同様である。			
[根拠資料番号及び資料名] 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等の資料番号と資料名を記入してください。(根拠資料の詳細は別記)			
資料番号	資料名		
2-1③ (1)	2019年度自己点検自己評価の学部会資料		

## 2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。	
点検・評価項目番号	長所・特色
	なし
[根拠資料番号及び資料名] 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等について、資料番号と資料名を記入し、提出してください。(根拠資料の詳細は別記)	
資料番号	資料名

## 3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。	
点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

## 4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画(既に行っている場合はその進捗状況も含めて)を記述してください。	
点検・評価項目番号	改善策
[根拠資料番号及び資料名] 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等について、資料番号と資料名を記入し、提出してください。(根拠資料の詳細は別記)	
資料番号	資料名

## 5. 「基準2」全体の自己評価

基準全体の評価を、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A

2019年度(評価対象期間:2019年4月～2020年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	授与する学位ごとに、学位授与方針を定め、公表しているか。	(1)	課程修了にあたって、学生が修得することが求められる知識、技能、態度等、当該学位にふさわしい学習成果を明示した学位授与方針を適切に設定し公表していますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 総合政策学部は、2019年度履修要項「総合政策学部の特色」及び大学ホームページに、現代社会を幅広く俯瞰できる教養と専門知識、課題解決のための技能を習得し、多様性への理解、コミュニケーション力、社会参加、課題発見力、課題解決力、総合的な知恵といった能力・資質を身に付けていると判定したものに学位を授与するディプロマ・ポリシーを方針として公表している。</p>				
<p>〔根拠資料番号及び資料名〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等の資料番号と資料名を記入してください。(根拠資料の詳細は別記)</p>				
資料番号	資料名			
4-1-①(1)	2019年度履修要項総合政策学部「総合政策学部の特色」AP/CP/DPウェブサイト【ウェブ】			
4-1-①(1)	「ディプロマ・ポリシー」ウェブサイト【ウェブ】			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。	(1)	下記内容を備えた教育課程の編成・実施方針の設定及び公表をしていますか。 ・教育課程の体系、教育内容 ・教育課程を構成する授業科目区分、授業形態等	A
		(2)	教育課程の編成・実施方針と学位授与方針には適切な連関性がありますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 総合政策学部は、カリキュラム・ポリシーとして教育課程編成・実施について、教養教育科目、リテラシー科目、基盤科目、展開科目、リサーチプロジェクト、キャリアデザイン科目を配置し、科目の特徴に応じた授業形態等の適切性に配慮し、2019年度履修要項「総合政策学部の特色」及び大学ホームページに、カリキュラム・ポリシーとして方針を公表している。</p> <p>(2) 総合政策学部は、ディプロマ・ポリシーに挙げた目標を達成するために、2019年度履修要項「総合政策学部の特色」に、カリキュラムポリシーを掲げ、その方針を公表している。</p>				
<p>〔根拠資料番号及び資料名〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等の資料番号と資料名を記入してください。(根拠資料の詳細は別記)</p>				
資料番号	資料名			
4-1-②(1)	2019年度履修要項「総合政策学部の特色」			
4-1-②(2)	「カリキュラム・ポリシー」ウェブサイト【ウェブ】			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。	(1)	教育課程の編成・実施方針と教育課程の整合性はとれていますか。	A
		(2)	教育課程の編成にあたっての順次性及び体系性への配慮、授業科目の位置づけ(必修、選択等)は適切ですか。	A
		(3)	個々の授業科目の内容及び方法は、教育課程の編成・実施方針を踏まえていますか。	A
		(4)	各学位課程にふさわしい教育内容を設定していますか。 <学士課程> 初年次教育、高大接続への配慮、教養教育と専門教育の適切な配置等 <修士課程、博士課程> コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮等	A
		(5)	学生の社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を育成する教育を適切に実施していますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 総合政策学部は、教育課程の編成・実施方針に基づき、総合政策学部の学位課程にふさわしい整合性のとれた授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成して、履修要項に公表している。</p> <p>(2) 総合政策学部は、順次性及び体系性への配慮、授業科目を位置付けた教育課程の編成をし、履修要項に公表している。基盤科目選択必修科目(〇〇〇基礎)の科目ナンバリングの変更を行い(「選択科目」の位置づけ)、学生配布の成績表にも新たに記載することになった。</p> <p>(3) 総合政策学部は、教育課程の編成・実施方針を踏まえた個々の授業科目の内容及び方法をシラバスに明記している。個々の授業科目内容、方法と教育課程の編成・実施方針との整合性については、シラバスチェックにより確認している。</p> <p>(4) 総合政策学部は、学部の教育課程にふさわしい教育内容を設定し、履修要項に記している。1年次に開講する「リサーチプロジェクト I ab」では、アクティブ・ラーニングを通してグループ調査、合同発表を行い、大学での学びに必要な能動的なスキル獲得を目指している。</p> <p>(5) 総合政策学部は、キャリアデザイン科目や資格試験、インターンシップによる単位認定をし、学生の社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を育成する教育を適切に実施している。実務経験のある教員による科目を実施している。</p>				
<p>〔根拠資料番号及び資料名〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等の資料番号と資料名を記入してください。(根拠資料の詳細は別記)</p>				
資料番号	資料名			
4-1③ -(1)	2019年度総合政策学部履修要項「総合政策学部の特色」、「カリキュラムツリー」			
4-1③ -(2)	2019年度総合政策学部履修要項「授業科目の概要」、「カリキュラム概要」、「カリキュラムツリー」、2019年12月18日学 部会議事録			
4-1③ -(3)	2019年度総合政策学部履修要項「カリキュラムツリー」、2020年度科目シラバスチェックの依頼、2020年度シラバス チェック案内及び報告書(1~4)			
4-1③ -(4)	2019年度総合政策学部履修要項「授業科目の概要」、「カリキュラム概要」、「カリキュラムツリー」			
4-1③ -(5)	2019年度総合政策学部履修要項「カリキュラム概要」、「カリキュラムツリー」、「単位認定」、2020年度実務経験のある 教員による授業科目			



点検・評価項目		評価の視点		自己評価
④	学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。	(1)	単位の実質化を図るための措置(授業時間外に必要な学習の促進、学士課程においては履修登録単位数の上限設定等)を講じていますか。	A
		(2)	シラバスの内容(授業の目的、到達目標、学習成果の指標、授業内容及び方法、授業計画、授業準備のための指示、成績評価方法及び基準等の明示)は適切ですか。授業内容とシラバスとの整合性が確保されていますか。	A
		(3)	学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容及び授業方法などの措置を講じていますか。	A
		(4)	各学位課程に応じてその他の措置を講じていますか。 <学士課程> ・授業形態に配慮した1授業あたりの学生数、適切な履修指導の実施 <修士課程、博士課程> ・研究指導計画(研究指導の内容及び方法、年間スケジュール)の明示とそれに基づく研究指導の実施	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 総合政策学部は、履修要項において単位の実質化を図る措置について明記し、学生の学修活性化、効果的な教育実施のために、シラバスにおいて授業時間外学修について明記している。履修登録単位数上限については履修要項修学目標に記している。シラバスにおいて授業外学修についての記載をし、学生の授業外学習のアドバイス、活性化を進めており、自己点検・自己評価に関する学協会においても単位の実質化を図るための措置としてアドバイザー、ゼミ教員中心に学生の学修指導を行っていくことを確認している。</p> <p>(2) 総合政策学部は、開講科目について、シラバスにおいて、授業の目的、到達目標、学習成果の指標、授業内容及び方法、授業計画、授業準備のための指示、成績評価方法及び基準等の明示をしている。また、授業アンケートにおいて設問を設け、授業内容の適切性、整合性についてチェックを行っている。</p> <p>(3) 総合政策学部は、リサーチプロジェクト科目において、学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容及び授業方法などの措置を講じている。特にリサーチプロジェクトIa bについては、クラス発表、グループ調査、全体発表会など自主的参加を促す授業形態、授業内容、授業方法の措置を講じている。</p> <p>(4) 総合政策学部は、演習科目及びリテラシー科目については、履修学生数定員を決めている。教員が学生個人調査票を活用し、学生の学修状況を把握し、適切な履修指導の実施をしている。特に成績不振学生については、教務主任、ゼミ担当教員が面談をし、丁寧に指導している。</p>				
<p>〔根拠資料番号及び資料名〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等の資料番号と資料名を記入してください。(根拠資料の詳細は別記)</p>				
資料番号	資料名			
4-1④ -(1)	2019年度総合政策学部履修要項「履修の基本事項」、2019年度自己点検自己評価の学協会資料			
4-1④ -(2)	2019年度総合政策学部履修要項「履修の基本事項」、2020年度科目シラバスチェック報告(1~4)			
4-1④ -(3)	2019年度総合政策学部履修要項「総合政策学部の特色」、愛知学院大学総合政策学部「リサーチプロジェクトIa Ib」テキスト、「リサプロカリキュラムマップ」			
4-1④ -(4)	2020年度リサーチプロジェクトIIIabIVab募集要項、2019年度春秋学期予備登録の手引き、2019年度春学期 2年生必修科目クラス割、19GリサーチプロジェクトIa b・日本語表現法・情報リテラシー科目クラス分け、個別指導等実施報告書(令和元年秋学期)			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑤	成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。	(1)	単位制度の趣旨に基づく単位認定を行っていますか。また、既修得単位の適切な認定を行っていますか。	A
		(2)	成績評価の客観性、厳格性を担保するための措置を講じていますか。	A
		(3)	卒業・修了要件を明示していますか。	A
		(4)	〈修士課程・博士課程〉 学位論文審査基準を明示していますか。	
		(5)	学位審査及び修了認定の客観性及び厳格性を確保するためにどのような措置を講じていますか。学位授与に係る責任体制及び手続は明示されていますか。	A
		(6)	適切に学位授与を行っていますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 総合政策学部は、単位制度の趣旨に基づく単位認定、また、既修得単位の認定について履修要項に記し、適切に行っている。</p> <p>(2) 総合政策学部は、成績評価の客観性、厳格性のために、科目シラバスにおいて成績評価の方法を明記している。リサーチプロジェクトIVb科目については、ルーブリックを用いた複数教員による評価を行っている。</p> <p>(3) 総合政策学部は、卒業・修了要件を履修要項に明示している。</p> <p>(4)</p> <p>(5) 総合政策学部は、進級については、学部会において判定を実施している。また、卒業については、学部会の議を経たうえで、代表教授会で実施している。</p> <p>(6) 総合政策学部は、上記(1)から(4)を踏まえて適切に学位授与を行っている。</p>				
<p>〔根拠資料番号及び資料名〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等の資料番号と資料名を記入してください。（根拠資料の詳細は別記）</p>				
資料番号	資料名			
4-1⑤ - (1)	2019年度総合政策学部履修要項「カリキュラム概要」「履修の基本事項」「成績」「単位認定」			
4-1⑤ - (2)	リサーチプロジェクトIVb ルーブリック表(2019年7月17日学部会承認)、2019年度リサーチプロジェクトIV b複数教員による評価に関する表			
4-1⑤ - (3)	2019年度総合政策学部履修要項「カリキュラム概要」			
4-1⑤ - (4)	2019年度学部会議事録 (2019年9月10日、2020年3月2日)			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑥	学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。	(1)	各学位課程の分野の特性に応じて、学位授与方針に示した学習成果を測定するための多角的で適切な指標設定を行っていますか。	A
		(2)	学習成果を把握及び評価するために適切な測定方法を用いていますか。 <<学習成果の測定方法例>> ・アセスメント・テスト ・ルーブリックを活用した測定 ・学習成果の測定を目的とした学生調査 ・卒業生、就職先への意見聴取	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 総合政策学部は、教育課程の科目の性質により様々な学修成果の評価方法を行うことを履修要項に明記し、各科目シラバスにおいて成績評価方法を明記している。アセスメント・プランを設定し、ディプロマ・ポリシーに示した学習成果を測定するための指標を設定している。</p> <p>(2) 総合政策学部は、科目の性質により、学修成果の把握を様々におこない、各教員が成績評価をしている。特に、リサーチプロジェクト科目や英語科目では、複数の評価主体から成績評価を行っている。学部として社会人基礎力調査を行い、科目によってはルーブリックを活用した測定、アセスメントテストの導入、卒業生に対する意見聴取もを行っている。キャリアセンターを通し、総合政策学部卒業生就職先企業とコンタクトし、総合政策学部卒業生は卒業後企業においておおむね良い評価を得ているとのことである。</p>				
<p>〔根拠資料番号及び資料名〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等の資料番号と資料名を記入してください。（根拠資料の詳細は別記）</p>				
資料番号	資料名			
4-1⑥ -(1)	2019年度総合政策学部履修要項「総合政策学部の特色」、「カリキュラムマップ」			
4-1⑥ -(1)2	総合政策学部アセスメント・プラン			
4-1⑥ -(2)	2019年度総合政策学部履修要項「総合政策学部の特色」、2019英語科目マニュアル、2019英語セルフアセスメントシート、2019年度自己点検自己評価の学協会資料、総合政策学部リサーチプロジェクトIVabルーブリック方針(2019年7月17日学協会承認)、キャリアセンターと総合政策学部打合せ記録(7月18日)、2019年10月23日学協会議事録			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑦	教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)	適切な根拠(資料、情報)に基づく点検・評価を行っていますか。 ・学習成果の測定結果の適切な活用	A
		(2)	点検・評価結果に基づき、改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 学部自己点検自己評価委員会において、成績評価、進学率、卒業率、就職率等をもとに点検をし、現状が良好であると評価する。自己点検自己評価に関する学協会においても同様である。</p> <p>(2) 学部自己点検自己評価委員会において、現状が良好であることを踏まえ、今後も点検・評価を行っていくことを確認した。自己点検自己評価に関する学協会においても同様である。学部の自己点検・自己評価委員会にて、リサーチプロジェクトにルーブリックを用いることを検討し、その結果、今学期より導入することになった。</p>				
<p>〔根拠資料番号及び資料名〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等の資料番号と資料名を記入してください。（根拠資料の詳細は別記）</p>				
資料番号	資料名			
4-1⑦ -(1)	2019年度自己点検自己評価の学協会資料			
4-1⑦ -(2)	2019年度自己点検自己評価の学協会資料、総合政策学部アセスメント・プラン (2019年12月18日学協会承認最新版)			



2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	長所・特色
	なし

〔根拠資料番号及び資料名〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等について、資料番号と資料名を記入し、提出してください。（根拠資料の詳細は別記）

資料番号	資料名

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画（既に実施している場合はその進捗状況も含めて）を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策

〔根拠資料番号及び資料名〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等について、資料番号と資料名を記入し、提出してください。（根拠資料の詳細は別記）

資料番号	資料名

5. 「基準4」全体の自己評価

基準全体の評価を、 「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、 「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A

2019年度(評価対象期間:2019年4月~2020年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	学生の受け入れ方針を定め、公表しているか。	(1)	学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針を踏まえた学生の受け入れ方針を適切に設定し、公表していますか。	A
		(2)	下記内容を踏まえた学生の受け入れ方針を設定していますか。 ・入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像 ・入学希望者に求める水準等の判定方法	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 総合政策学部は、愛知学院大学HP上に、総合政策学部の学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針を踏まえた学生の受け入れ方針を適切に設定し、公表している。</p> <p>(2) 総合政策学部は、愛知学院大学HP上に、総合政策学部の入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像、入学希望者に求める水準等の判定方法を設定し、公表している。</p>				
<p>〔根拠資料番号及び資料名〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等の資料番号と資料名を記入してください。(根拠資料の詳細は別記)</p>				
資料番号	資料名			
5-1-①(1)	学部アドミッションポリシー 「AP/CP/DP」ウェブサイト【ウェブ】			
5-1-①(2)	学部アドミッションポリシー、「AP/CP/DP」ウェブサイト【ウェブ】			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。	(1)	学生の受け入れ方針に基づき学生募集方法及び入学者選抜制度を適切に設定していますか。	A
		(2)	入試委員会等、責任所在を明確にした入学者選抜実施のための体制を適切に整備していますか。	A
		(3)	公正な入学者選抜を実施していますか。	A
		(4)	入学を希望する者への合理的な配慮に基づく公平な入学者選抜を実施していますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 総合政策学部は、入試委員会のもと、総合政策学部学生の受け入れ方針に基づき、学生募集方法及び入学者選抜制度を適切に行っている。</p> <p>(2) 学部長、教務主任が入試委員会委員となり、入学者選抜実施を行っている。</p> <p>(3) 総合政策学部は、入試委員会のもと、総合政策学部学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施している。</p> <p>(4) 総合政策学部は、入試委員会のもと、総合政策学部へ入学を希望する者への合理的な配慮に基づく公平な入学者選抜を実施している。</p>				

基準5. 学生の受け入れ

組織名

総合政策学部

〔根拠資料番号及び資料名〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等の資料番号と資料名を記入してください。（根拠資料の詳細は別記）

資料番号	資料名
5-1-②(1)	2019年度入試委員会議事録
5-1-②(2)	2019年4月10日代表教授会資料(2020年度入試のための委員会)
5-1-②(3)	2019年度入試委員会議事録
5-1-②(4)	2019年度入試委員会議事録

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	(1)	入学定員及び収容定員を適切に設定し、在籍学生数を管理していますか。 <学士課程> ・入学定員に対する入学者数比率 ・編入学定員に対する編入学生数比率 ・収容定員に対する在籍学生数比率 ・収容定員に対する在籍学生数の過剰又は未充足に関する対応 <修士課程、博士課程、専門職学位課程> ・収容定員に対する在籍学生数比率	A

〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。

(1) 総合政策学部は、入試委員会のもと、適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理している。

〔根拠資料番号及び資料名〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等の資料番号と資料名を記入してください。（根拠資料の詳細は別記）

資料番号	資料名
5-1③(1)	2019年度入試委員会議事録

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
④	学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)	適切な根拠(資料、情報)に基づく点検・評価を行っていますか。	A
		(2)	点検・評価結果に基づき改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	A

〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。

(1) 総合政策学部は、指定校推薦については、入学者1年次GPAをもとに、指定校の受け入れ人数枠の適切性等についての点検・評価を行っている。

(2) 総合政策学部は、指定校推薦入学者1年次のGPAをもとに学生受け入れ人数枠の適切性について点検、評価をして、指定校高校に対し入学者の成績表持参し、説明を行っている。

〔根拠資料番号及び資料名〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等の資料番号と資料名を記入してください。（根拠資料の詳細は別記）

資料番号	資料名
5-1④(1)	総合政策学部指定校推薦調整法覚え書き
5-1④(2)	総合政策学部指定校推薦調整法覚え書き、2019年度高校訪問先リスト、2019年11月27日学部会議事録、2020年2月26日入試委員メモ

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	長所・特色
	なし
[根拠資料番号及び資料名] 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等について、資料番号と資料名を記入し、提出してください。（根拠資料の詳細は別記）	
資料番号	資料名

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画(既にも実施している場合はその進捗状況も含めて)を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策
[根拠資料番号及び資料名] 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等について、資料番号と資料名を記入し、提出してください。（根拠資料の詳細は別記）	
資料番号	資料名

5. 「基準5」全体の自己評価

基準全体の評価を、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A

2019年度(評価対象期間:2019年4月～2020年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
①	大学の理念・目的に基づき大学として求める教員像や各学部・研究科等の教員組織の編制に関する方針を明示しているか。	(1)	◇新規項目 各学部・研究科等の教員組織の編制に関する方針を適切に明示していますか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 総合政策学部は、2020年1月15日、学部に於いて教員組織の編制方針を審議し、適切に方針を策定した。				
〔根拠資料番号及び資料名〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等の資料番号と資料名を記入してください。(根拠資料の詳細は別記)				
資料番号	資料名			
6-1-② (1)	2019年度自己点検自己評価の学協会資料、総合政策学部の教員組織の編制方針			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。	(1)	大学全体及び学部・研究科等ごとの専任教員数は適切ですか。	A
		(2)	学部・研究科等ごとの専任教員数を適切に維持するため、計画的に募集・採用・昇任等を実施していますか。	A
		(3)	教員組織の編制に関する方針に基づき、適切に教員組織を編制していますか。 ・教育上主要と認められる授業科目における専任教員(教授、准教授、講師又は助教)の適正な配置 ・各学位課程の目的に即した教員配置(国際性、男女比等も含む) ・研究科担当教員の資格の明確化と適正な配置 ・教員の授業担当負担への適切な配慮 ・バランスのとれた年齢構成に配慮した教員配置	A
		(4)	学士課程における教養教育の運営体制は適切ですか。	A
〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。				
(1) 総合政策学部は、2019年度学部必要専任教員数を充足しており、適切である。学部自己点検自己評価実務委員、自己点検自己評価委員会、自己点検自己評価に関する学協会にて点検し、適切であると確認した。				
(2) 総合政策学部は、学協会において、総合政策学部の専任教員数を適切に維持するために、計画的に募集・採用・昇任等を実施することを確認した。				
(3) 総合政策学部は、教育上主要と認められる授業科目、学部カリキュラムに合わせた分野、男女比、国際性、年齢構成などのバランスを踏まえ専任教員を適切に配置しており、教育課程の目的に即した教員配置もおこなっている。学部自己点検自己評価実務委員、自己点検自己評価委員会、自己点検自己評価に関する学協会にて点検し、適切であると確認した。				
(4) 学部教務主任及び教養部教務主任間において、学士課程における教養教育の運営体制の適切性について確認した。学部自己点検自己評価委員会、自己点検・自己評価に関する学協会においても同様である。				



〔根拠資料番号及び資料名〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等の資料番号と資料名を記入してください。（根拠資料の詳細は別記）	
資料番号	資料名
6-1-② (1)	2019年度自己点検自己評価の学協会資料、総合政策学部の教員組織の編制方針
6-1-② (2)	2019年度自己点検自己評価の学協会資料
6-1-② (3)	2019年度自己点検自己評価の学協会資料
6-1-② (4)	2019年度自己点検自己評価の学協会資料

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	教員の募集、採用、昇任等を適切に行っているか。	(1)	教員の職位(教授、准教授、講師、助教等)ごとの募集、採用、昇任等に関する基準及び手続を設定し、規程を整備していますか。	A
		(2)	規程に沿った教員の募集、採用、昇任等を実施していますか。	A

〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。

(1) 学部内規にそって総務委員会での手続を経て教員、採用、昇任等を適切に行っている。

(2) 学部内規にそって総務委員会での手続を経て採用を適切に行っている。2019年度は情報学分野の教員退職に伴い新任教員の採用を実施した。

〔根拠資料番号及び資料名〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等の資料番号と資料名を記入してください。（根拠資料の詳細は別記）	
資料番号	資料名
6-1-③ (1)	総合政策学部教員人事に関する内規
6-1-③ (2)	学協会資料⑤(2019年10月23日)

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
④	ファカルティ・ディベロップメント(FD)活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげているか。	(1)	ファカルティ・ディベロップメント(FD)活動を組織的に実施していますか。	A
		(2)	教員の教育活動、研究活動、社会活動等の評価を行い、結果を活用していますか。	A

〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。

(1) 総合政策学部は、毎年テーマを決めFD活動を実施している。学部FD研究会は、2019年12月18日に実施した。また、科目群によりFD活動が実施されている。

(2) 各教員が、教育、研究、社会活動についての自己点検自己評価を行い、そのデータをもとに、学部長が2018年3月20日学協会において、総合政策学部教員の教育、研究、社会貢献活動、大学運営活動について達成度の傾向について言及があり、大学運営、教育活動の負担が増えるなか、研究活動のための時間確保のための体制づくりの必要性についての確認があった。学部自己点検・自己評価委員会及び自己点検・自己評価に関する学協会においても同様の確認があった。

〔根拠資料番号及び資料名〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等の資料番号と資料名を記入してください。（根拠資料の詳細は別記）	
資料番号	資料名
6-1-④-(1)	2019年度総合政策学部FD研究会報告
6-1-④-(2)	2019年度自己点検自己評価の学協会資料

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
⑤	教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)	適切な根拠(資料、情報)に基づく点検・評価を実施していますか。	A
		(2)	点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 総合政策学部自己点検自己評価実務委員が「総合政策学部における教員組織の編制の適切性について」を作成し、点検・評価を実施した。学部自己点検自己評価委員会委員が、教員組織の適切性について点検、検討し、自己点検自己評価に関する学協会においても点検し、良好と評価した。</p> <p>(2) 学部自己点検自己評価委員会委員会及び自己点検自己評価に関する学協会において良好であると評価したことを踏まえ、現状を継続していくことで確認した。</p>				
〔根拠資料番号及び資料名〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等の資料番号と資料名を記入してください。（根拠資料の詳細は別記）				
資料番号	資料名			
6-1-⑤(1)	2019年度自己点検自己評価の学協会資料			
6-1-⑤(2)	2019年度自己点検自己評価の学協会資料			

## 2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	長所・特色
	なし
〔根拠資料番号及び資料名〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等について、資料番号と資料名を記入し、提出してください。（根拠資料の詳細は別記）	
資料番号	資料名

## 3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

## 4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画（既に行っている場合はその進捗状況も含めて）を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策
〔根拠資料番号及び資料名〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等について、資料番号と資料名を記入し、提出してください。	
資料番号	資料名

## 5. 「基準6」全体の自己評価

基準全体の評価を、 「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、 「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A

2019年度(評価対象期間:2019年4月~2020年3月) 自己点検・評価シート

1. 現状説明

※自己評価は、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」いずれかを選択。

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
②	社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施しているか。また、教育研究成果を適切に社会に還元しているか。	(1)	学外組織との適切な連携体制を構築していますか。地域交流、国際交流事業への参加に取り組んでいますか。	A
		(2)	社会連携・社会貢献に関する活動による教育研究活動を推進していますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 総合政策学部は、幾つかの学外組織と連携体制を構築し、地域交流事業等に取り組んでいる。2019年度は、地域連携センター開講科目「地域連携学C」の担当教員として、総合政策学部教員が教養部教員とともに、福島県川俣町山木屋地区に学生を引率し、継続的交流をおこなった(2019年8月5, 6, 7, 8日)。2019年度秋学期連携講座として、中日新聞社と総合政策学部が連携した授業科目が開講された。2020年1月21日に総合政策学部とパキスタン共和国ラホール女子大学工学・技術学部都市・地域計画学科との学術的交換に関する協定締結となった。</p> <p>(2) 毎年総合政策学部では、開講科目の一部を開放講座として市民に公開している。2019年度春学期・秋学期の総合政策学部の開講科目の一部を開放講座としており、2019年度は15科目計38名が総合政策学部開放講座を受講した。リサーチプロジェクトIbでは、1年生が、地域の社会活動を行っている団体や近隣自治体にフィールド調査を行う授業を実施している。リサーチプロジェクトIbの一部のクラスでは、近隣自治体等と連携し、社会貢献活動を展開している。</p>				
<p>〔根拠資料番号及び資料名〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等の資料番号と資料名を記入してください。(根拠資料の詳細は別記)</p>				
資料番号	資料名			
9-1-② (1)	2020年2月19日シンポジウム開催チラシ、学術的交換における協定文書			
9-1-② (2)	開放講座受講者数(2019年度15科目38名)、2019年度リサーチプロジェクトIbシラバス、II a、IIbシラバス(村田担当)			

点検・評価項目		評価の視点		自己評価
③	社会連携・社会貢献の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。	(1)	適切な根拠(資料、情報)に基づく点検・評価を実施していますか。	A
		(2)	点検・評価結果に基づく改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	A
<p>〔現状〕 評価の視点ごとに、「いつ」、「主体(会議名・誰が)」、「どのように(方法・指標)」、「何を」実施しているか、など第三者が理解できるよう具体的に説明してください。</p> <p>(1) 学部自己点検自己評価委員会において、総合政策学部は社会連携・社会貢献に積極的に取り組んできたことを確認し、今後もその方針で行くことを確認した。自己点検・自己評価の学部会においても同様である。</p> <p>(2) 学部自己点検自己評価委員会において、総合政策学部は社会連携・社会貢献に積極的に取り組んできたことを確認し、今後もその方針で行くことを確認した。自己点検・自己評価の学部会においても同様である。</p>				
<p>〔根拠資料番号及び資料名〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等の資料番号と資料名を記入してください。(根拠資料の詳細は別記)</p>				
資料番号	資料名			
9-1-③ (1)	2019年度自己点検自己評価の学部会資料			
9-1-③ (2)	2019年度自己点検自己評価の学部会資料			

2. 長所・特色

有意な成果が見られる事項、先駆性・独自性のある事項がある場合、目標として意図した成果が何であったかを明らかにしたうえで、実際にあがった成果が確認できる根拠を示しながら記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	長所・特色
9-②	総合政策学部は、学部の人材育成・教育研究目標を踏まえた社会貢献関連事業を実施し、学生に対する教育的効果を目指すとともに、社会貢献に寄与することを目指した。シンポジウムの開催及びラホール女子大学 工学技術学部 都市・地域計画学科と学術的交換をする協定を締結した。
〔根拠資料番号及び資料名〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等について、資料番号と資料名を記入し、提出してください。（根拠資料の詳細は別記）	
資料番号	資料名
9- 2	2020年2月19日シンポジウム開催チラシ、学術的交換における協定文書

3. 課題・問題点

理念・目的を実現する上での課題、基礎要件に関する問題、大学としてふさわしい水準を確保する上での問題がある場合、記述してください。特にない場合は「なし」としてください。

点検・評価項目番号	課題・問題点
	なし

4. 課題・問題点に対する改善策

「3. 課題・問題点」の事項の改善策がある場合は、その具体的な計画（既に行っている場合はその進捗状況も含めて）を記述してください。

点検・評価項目番号	改善策
	なし
〔根拠資料番号及び資料名〕 上記説明の根拠となる「議事録」・「印刷物」・「ホームページURL」・「組織内資料」等について、資料番号と資料名を記入し、提出してください。（根拠資料の詳細は別記）	
資料番号	資料名

5. 「基準9」全体の自己評価

基準全体の評価を、「S:極めて良好」、「A:良好」、「B:軽度な問題がある」、「C:重度な問題がある」から選択してください。	自己評価
	A